授業科目名・形態	福祉経営論　　講義	必修・選択の別	選択	単位数	2
科目担当者氏名	藤田　博章	実務経験の有無	有	開講期	3年前期
科目ナンバリング	W4-3014sR				

【授業の主題】

福祉経営とは、社会の中の施設運営を通じ、住民の福祉の実現に向けて働きかけを行う行為である。福祉経営の中身を知った上で対象者の支援を実施することは、サービスの質の向上にも繋がると考える。経営学に関する基礎として、福祉経営の組織、実践的理論、人事マネジメント等の理論を学び、実践力を高めていくことを目的とする。

【到達目標】

1）ソーシャルワークにおいて必要となる、福祉サービスを提供する組織や団体の概要について理解する。
2）社会福祉士に求められる福祉サービスの組織と沿革、経営の視点と方法を理解する。
3）福祉サービスの組織と運営に係る基礎理論、労働者の権利等について理解する。
4）福祉サービスに求められる福祉人材マネジメントについて理解する。
5）社会福祉士国家試験の出題傾向から国が社会福祉士に求めている技術や基礎知識を理解する。

【授業計画・内容】

第 1 回　オリエンテーション・福祉サービスを提供する組織
第 2 回　福祉サービスの沿革と概況
第 3 回　組織間連携と促進
第 4 回　組織運営に関する基礎理論
第 5 回　集団の力学に関する基礎理論
第 6 回　リーダーシップに関する基礎理論
第 7 回　経営体制
第 8 回　福祉サービス提供組織のコンプライアンスとガバナンス
第 9 回　適切な福祉サービスの経営管理
第 10 回　情報管理
第 11 回　会計管理と財務管理
第 12 回　福祉人材マネジメント
第 13 回　福祉人材の育成
第 14 回　働きやすい労働環境の整備
第 15 回　まとめ

【授業実施方法】

基本的には講義で行う。

【事前・事後学習】

講義内容に関する事前学習を毎回２時間以上行うこと。受講するすべての学生は各回の授業において参照する教科書の該当ページを授業前に一度は読んでくること。教科書の該当ページにおけるわからない語句などを専門書や辞典などを用いて調べておくこと。講義内容を踏まえ、復習を毎回２時間以上行うこと。社会福祉専門職になろうとする高い意欲のある学生は、日頃から新聞などで報じられる社会福祉に関する問題に関心を持ち、経営とソーシャルワーク専門職との関係について確認すること。

【主な関連する科目】

社会福祉概論Ⅰ・Ⅱ、ソーシャルワークの基盤と専門職（専門）、ソーシャルワークの理論と方法、ソーシャルワーク演習Ⅰ～Ⅴ、人間の理解　など

【教科書等】

最新　社会福祉士養成講座　　1 福祉サービスの組織と経営、中央法規、2021

【参考文献】

必要に応じて、講義の中で適宜提示する。また、ポータルサイトにて補足のレジメを提示する。

【成績評価方法】

講義・演習への参加態度（主体的な授業参加態度を重視する）10%、定期試験 80%、提出課題 10%で評価する。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

障害者就労支援施設における管理職の経験から、マネジメント、福祉サービスの実際、施設経営の実際、マーケティングについて、理論や知識を習得できる授業の展開を行う。

【学生へのメッセージ】

本講義で福祉経営の中身を知ることで、組織の存在意義、自身の働き方など、幅広く法人運営について学ぶことができます。将来的に管理職になった際、実践的な役立つ知識が多く含まれる内容となっています。社会福祉士の国家試験の問題にも触れていきます。